

地域の食文化の継承 (第38回国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」について)

文化庁では、都道府県等と共催で、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等の施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典として、「国民文化祭」を昭和61（1986）年から開催しています。

令和5（2023）年10月14日から11月26日まで開催された第38回国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」では、古くから受け継がれてきた金沢^{かなざわ}の多様な食文化の魅力を発信するイベント「金沢食文化フェスタ」や、能登^{のと}の里山里海の、海の幸・山の幸を味わいながら能登の文化を楽しむイベント「のと里山里海フェスタ」を開催しました。

○金沢食文化フェスタ（10月21日・22日 石川県政記念しいのき迎賓館等（石川県金沢市））

会場では、発酵食や和菓子等をつくるワークショップを開催したほか、旬の食材を使った料理をブースで提供するなど、料亭や加賀野菜、和菓子に至るまで様々な面を持つ金沢の食文化を紹介し、県内外に金沢の食文化の魅力を発信しました。

また、有識者を招き金沢の食文化の魅力を発信するフォーラムや、金沢の食文化の奥深さに触れる調理交流会を、若者を対象に実施しました。

○のと里山里海フェスタ（10月28日・29日 のと里山空港（石川県輪島市）^{わじま}）

食を通して能登の魅力を体感してもらえるよう、能登の食材や料理を味わえるブースを出展したほか、日本遺産にも認定された能登を代表する祭礼「キリコ祭り」で使用されるキリコ^{きりことうろう}（切子灯籠を縮めた呼び名であり、長方形の形をした山車の一種）の展示やキリコを担ぐ体験、能登の自然や伝統工芸を体験できるワークショップや地元の子供たちによるダンスステージ・書道パフォーマンス等、来場者が能登の里山里海の祭り・食・文化体験を楽しむイベントを実施しました。



ワークショップの様子（石川県金沢市）



食事のブースの様子（石川県輪島市）